

市民意見交換会の活動記録

市民意見交換会は、平成15年の夏にメンバーを公募して発足しました。登録メンバーは、最終的に99名でした。（総参加申込者数：108名、退会者：11名）

全体会は10回行われ、その間に川歩きやグループ別の活動を行いました。

その成果として、1年目は流域の資源、課題を「情報マップ」にまとめました。

2年目は、テーマ別グループの提案をまとめる形で「提言」をまとめました。

【テーマ別グループでの取り組み】／参加者（開催日）

■生態系・水質・ゴミグループ（20名）

- ・下流での、水質、ゴミ等の点検 / 5名（5/30）
- ・上流での、生態系の情報収集、水質検査 / 7名（7/17）

■原風景・歴史グループ（11名）

- ・歴史情報の持ち寄りと整理作業 / 7名（6/6）
- ・歴史環境、風景の現地調査 / 11名（8/8）

■体験・憩いの場グループ（14名）

- ・流域の「歩ける道」と「憩いの場」の調査（個人で分担）
- ・自然と触れ合え、遊べる河原の現地調査 / 9名（7/23）

■治水・防災グループ（11名）

- ・学習会1 治水の現状と課題 / 10名（6/13）
- ・学習会2 地域防災を考える / 7名（8/1）
- ・学習会3 ハザードマップワークショップ / 5名（10/3）



第1回／ワークショップ



第5回／テーマ別グループでの提案づくり



第2回／川歩き後の話し合い

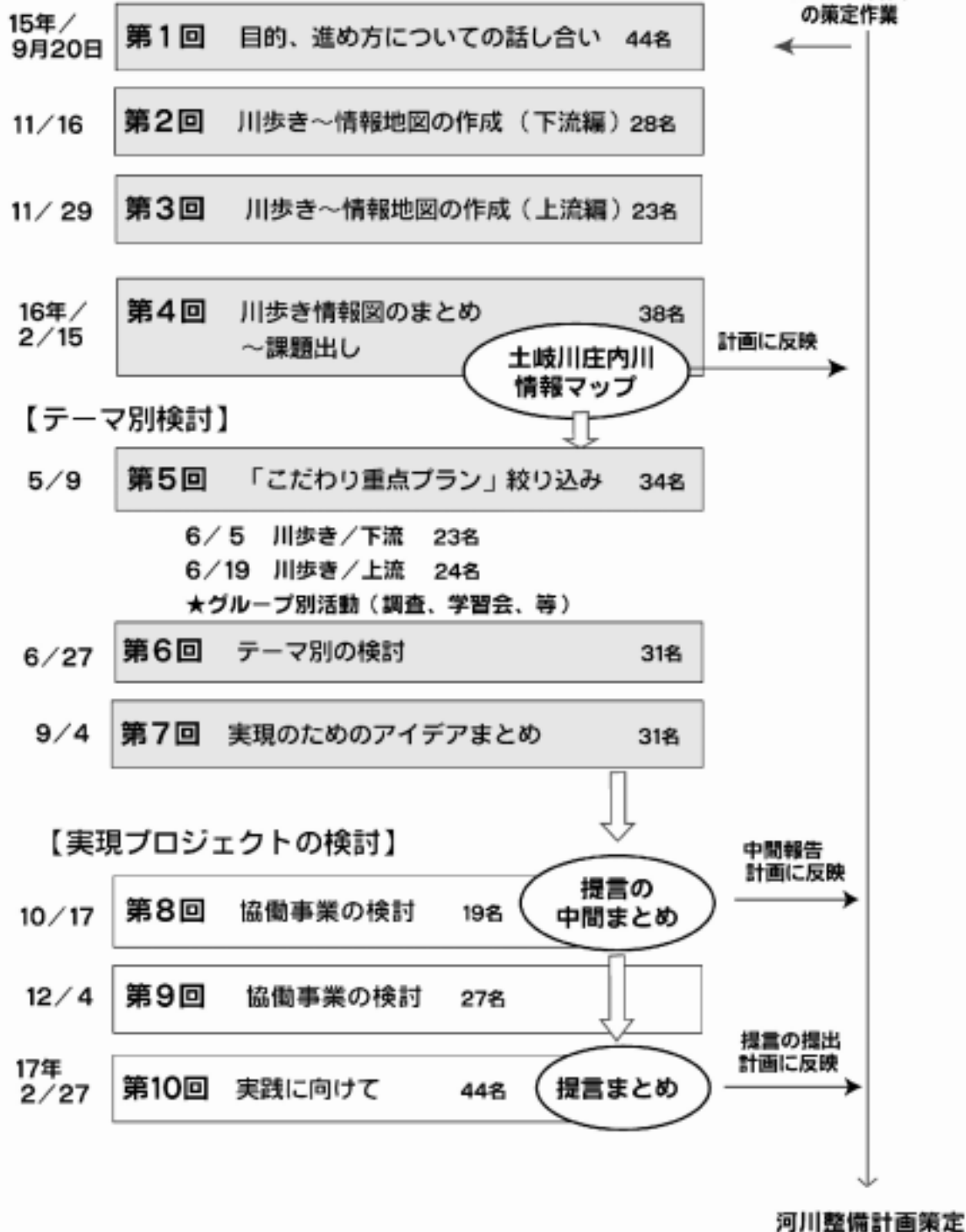


第3回 川歩き（魚道を点検しているところ）



H16年6月5日 川歩き（玉野溪谷）

市民意見交換会の開催日・テーマ・参加人数



土岐川庄内川河川整備計画への提言

- 土岐川庄内川の魅力資源を活かした豊かな川づくりに向けて -

平成17年2月27日

土岐川庄内川コレカラプロジェクト 第10回 土岐川庄内川市民意見交換会

基本的視点：川の魅力、川の豊かさに視点を当てる

土岐川庄内川は、今もなお特有の魅力資源が随所にあります。

第1に、河口にはラムサール登録湿地の藤前干潟があります。日本最大級の渡り鳥の飛来地を河口にもつ土岐川・庄内川は、日本国内はもとより「国際的河川」と言ってもいいでしょう。

第2に、玉野溪谷や虎溪山永保寺周辺、白狐温泉周辺など、自然の溪谷美を見ることができます。山奥にある溪谷ではなく、都市の身近な場所に溪谷があるというのも、都市河川としては希少であり、すばらしい自然的資源をもった川であるということができるでしょう。

第3に、上流の土岐川では、河床の岩盤に化石を見ることができます。瑞浪市では、子供たちや市民が土岐川で化石とりを楽しんでいます、「化石とりができる河原をもつ川」というのも、土岐川・庄内川特有の魅力です。

第4に、土岐川庄内川は、今もなお魅力的で多様な姿をとどめています。河口部に広がるヨシ原の風景、一色大橋の袂に残る松並木の風景、枇杷島橋下流の広い河川敷と多様な河川利用、周辺の歴史資源、勝川橋上流の中流部らしい川の風景、溪谷、多治見市から上流の街並みや人々の暮らしと結びついた川の風景など、多様な魅力資源がちりばめられています。

川の魅力資源に視点を当てて川を歩いてみるといろいろなものが見えてきます。多くの市民が土岐川・庄内川の魅力に気づき、川と多様な関わりを持つ、そのための提案を行うことが、市民意見交換会にふさわしい提案のあり方ではないかと思えます。土岐川庄内川の魅力を発見し、川と関わりを持つということは、市民一人一人が今すぐにでも始められることですし、そこに土岐川・庄内川の「再生力」の源があると考えます。

「土岐川庄内川の魅力資源を活かした豊かな川づくり」ということを、河川整備計画の大きな基本テーマとしたい。



藤前干潟



玉野溪谷



クロマツ並木（一色大橋）